

平成 29 年度世界遺産専攻修士論文公開発表会

2018 年 2 月 2 日(金) 人文社会学系棟 B218 (セミナー室・大) 9:45~15:30

1. 岡本 慎一郎 10:00~10:17
科学的材料の木彫像修復における役割
2. 小野 智仁 10:17~10:34
強化剤を用いた収蔵パピルス文書の一括保存の研究
3. 外戸口 眞子 10:34~10:51
明治以降の商業地の近代化とその捉え方ー日本橋と銀座の比較ー
4. 佐藤 公男 10:51~11:08
生物圏保存地域の管理運営計画に関する研究ー南アルプス・只見を事例にー

◆休憩 11:08~11:20

5. 船木 大資 11:20~11:37
世界自然遺産地域における人と自然の関係ー知床半島羅臼町赤岩地区の昆布漁をめぐってー
6. 真鍋 沙由未 11:37~11:54
戦前日本の文化財保護意識ー古器旧物保存の布告から国宝保存法までー

◆昼時間 12:11~13:00

7. 白 茹 13:00~13:17
国立公園におけるパークボランティア活動の現状と活性化のための今後の方向性
ー富士箱根伊豆国立公園箱根地区を事例としてー
8. FANITRA PEDI ATMANTI 13:17~13:34
インドネシアの伝統的建築の保存と活用の研究ーニアス島バウオマタルオ村保存の事例ー
9. 李 雅 諾 13:34~13:51
地域遺産としての湧水湿地の価値ー中津川市岩屋堂の名もなき湿地を例としてー
10. 曹 晗 13:51~14:08
中国東北地方少数民族の無形文化遺産保護ーオロチョン族のグルンムタ祭りを例としー

◆休憩 14:08~14:20

11. 劉 震 宇 14:20~14:37
中国山西省大陽鎮伝統建築の現代的利用と保存に関する研究
12. 長谷川 千 紘 14:37~14:54
歴史を利用した地域イベントとまちとの関係の変遷
ー50年おきに行われる家康公薨去記念事業を対象としてー
13. 謝 陽 14:54~15:11
中国における世界遺産の入場料の現状と課題